

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/06/22

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.78	-0.07
JPY/THB	0.2451	-0.0012
USD/JPY	141.88	0.41
EUR/THB	38.21	0.16
EUR/USD	1.0986	0.0068
USD/CNH	7.177	-0.005
SGD/THB	25.95	0.00
AUD/THB	23.64	-0.01
USD/INR	82.04	-0.08
USD Index	102.07	-0.47

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.352	0.018
10Y (THB)	2.611	-0.007
5Y (USD)	3.957	0.004
10Y (USD)	3.719	-0.002

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,933.3	-2.2
WTI (Oil)	72.53	2.03
Copper	8,602.5	54.5

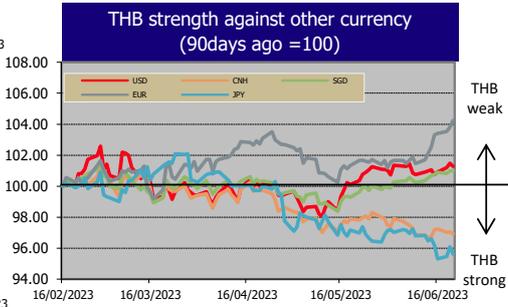
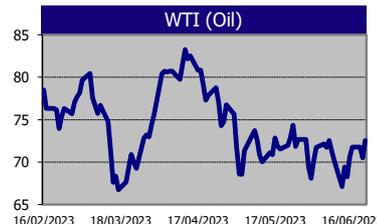
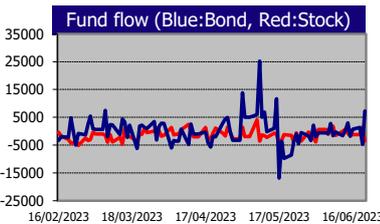
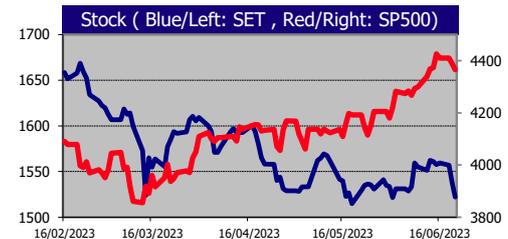
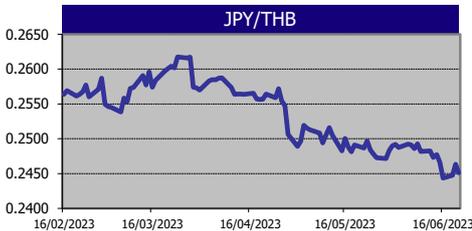
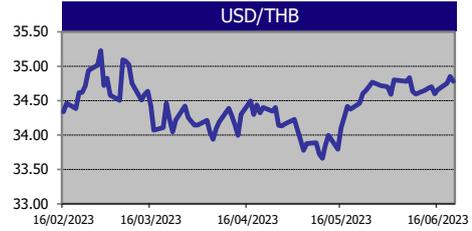
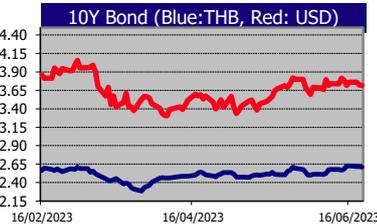
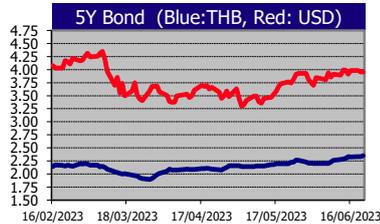
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,522.12	-15.47
NIKKEI (JP)	33,575.14	186.23
DOW (US)	33,951.52	-102.35
S&P500 (US)	4,365.69	-23.02
SHCOMP (CN)	3,197.90	-42.46
DAX(GER)	16,023.13	-88.19

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,577)	-5013.2
Bond net flow	7,243	11952.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に下落。34パーツ台後半で取引を開始。序盤は海外時間にパウエルFRB議長の議会証言を控えていることもあってか動意に欠ける推移が継続。バンコク時間午後には市場予想を上回る英国5月CPIが発表されたものの、ドルパーツの反応は限定的なものとなった。海外時間に入り、パウエル議長の議会証言を前に公表された原稿では「インフレ率2%に戻すにはまだ長い道のりが残されている」とされ、金融引き締め継続が意識される中、ドルパーツは上昇。ただ、その後行われた議会証言にて「より緩やかなペースでの利上げが理にかなう」等の発言から年内2回の追加利上げ観測が剥落し、ドルパーツは反落。34.78レベルで引けた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。141円台半ば付近で取引を開始。植田日銀総裁がイベントの挨拶において「粘り強く金融緩和を継続」する旨を示し、マイナス圏で寄り付いた日経平均株価が勢いを取り戻す中、ドル円も底堅く推移。バンコク時間終盤にかけては142円台を付けた。その後海外時間入りにかけて弱含む場面が見られるも、パウエル議長の議会証言テキストの内容を受けて再度上昇。ただ、議会証言本番はマーケットの失望感を誘うものとなり、ドル円は失速。141円台後半まで値を戻し、そのまま141.88レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

20日、中国は事実上の政策金利とされる最優遇貸出金利(LPR)を1年物、5年物ともに0.1%引き下げた。低迷が続く国内不動産市場を支える狙いがあると思われるが、市場ではさらに大きな利下げ幅を見込んでいた向きもあったことから、失望感が広がっており、利下げ発表以降、中国株式市場では軟調な推移が続いている。中国経済については今月15日に発表された主要経済指標をはじめ、市場予想を下回る結果が続いている中、まさに正念場にさしかかっていると言える。

当然ながら中国経済の低迷はタイ経済にも影響を与えるものであり、貿易の動向はもちろん、堅調とされる観光セクターにも影響を及ぼしかねない。タイ観光・スポーツ省が発表するデータによれば、今年4月までの中国人観光客はおよそ85万人となっている。タイ国政府観光庁は今年の中国人観光客の目標を500万人としているが、達成するためには5月からの残り8カ月で月あたり平均50万人程度の中国人観光客が訪れる必要があることになる(4月の実績はおおよそ33万人)。幸い、中国以外の国からの観光客が堅調であることから、全体の数字は良好なものとなっているが、コロナ前の水準に戻すには中国人観光客の戻りは必須と言える。主要国の金融政策に加え、中国経済の動向にも同等の注意を払っておきたい。(末廣)